

倫理様式第 1 号
令和 4 年 2 月 10 日
承認番号 21-14

1 研究題目

膀胱全摘除術・尿管皮膚瘻造設術後に絞扼性腸閉塞をきたした 1 例

2 研究の対象

膀胱全摘除術・尿管皮膚瘻造設術後に絞扼性腸閉塞をきたした症例を対象とする。

3 研究目的

膀胱全摘除術の周術期合併症として麻痺性イレウスは比較的頻度が高く、経腹的アプローチによる膀胱全摘除術に絞扼性腸閉塞をきたした症例報告は散見されており、今回題目の例についての手術内容・所見、合併症及び術後経過について西日本泌尿器科学会誌へ投稿するものである。

個人情報については、名前の匿名化を実施し個人を特定されることはない。

4 研究期間

研究倫理委員会承認後、西日本泌尿器科学会誌へ投稿

5 研究に用いる試料・情報の種類

手術内容、合併症、術後経過

6 研究責任者

泌尿器科：三井 將雄